

実践例⑤ 第2学年 学級活動

1 議題 話し合い活動「お楽しみ会の計画を立てよう」

2 目標

		学びに向かう力・人間性等	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能
事前	全員	○ 学級をよりよくするために、進んで議題案を見つけようとする。	○ 提案理由や話し合いの柱に沿って、自分なりの考えをもつことができる。	○ 本時の議題・提案理由・話し合いの柱から、何について話し合うのかを理解することができる。
	計画委	○ 教師の助言を受け、進んで話し合い活動の計画を立てようとする。	○ 取り上げなければならない問題の優先順位を考えることができる。	○ 司会団としての自分の役割と話し合い活動の進め方を理解することができる。
本時	全員	○ 話し合い活動のめあてや話し合いの柱を意識しながら、進んで話し合い活動に参加しようとする。	○ 順序を考えて自分の意見を言ったり、賛成や同意の意見を言ったりすることができる。	○ 発表の仕方や友達の発表を聞く時の態度など、話し合い活動のきまりを理解することができる。
	司会団	○ よりよい話し合い活動をするために、司会団で協力して進行しようとする。	○ みんなの発表を聞きながら、話し合い活動の柱に沿って進行することができる。	○ 司会団としての自分の役割と話し合いの進め方を理解することができる。
事後	全員	○ 話し合い活動で決まったことを進んで実践しようとする。	○ 全員が楽しめることを考えながら、話し合い活動に取り組むことができる。	○ 自分や友達のよさや違いを認め合い、みんなで協力して取り組む大切さを理解することができる。

3 本校の研究テーマとの関連 ※ _____下線部は、本単元の重点

(1) 研究テーマ「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに認め励まし高め合う子どもの育成
～自己肯定感を高める取組を通して～」

(2) 研究の視点

視点イ②交流活動の工夫	視点ア③振り返り
話し合い活動における対話活動を工夫することで、自分と他者の違いに気づき、他者の姿を受け入れ、他者に関わるようにする。	話し合い活動における振り返りで「なるほど」の視点に着目することで、他者の学びや他者からの自己の学びにも目を向けるようにする。

4 実際

(1) 目標

- ア 話し合いの柱を意識しながら、自分の意見だけでなく友達の意見も聞き、積極的に話し合う。【学】
- イ みんなが楽しめるお楽しみ会をするために、どんな会を行えばよいか考え、話し合う。【思・判・表】
- ウ 発表の仕方や聞き方など話し合いのきまりや基本的な進め方を理解することができる。【知・技】

(2) 自己肯定感を高める「他者のよさに気づき、互いに認める」手立て

視点イ②交流活動の工夫	視点ア③振り返り
<ul style="list-style-type: none"> ② グループでの役割分担をすることで、全員が話し合い活動に参加することができるようにする。 ② 決まった児童だけの発表にならないように、事前に自分の考えをまとめる時間を設定し、少人数の中で話し合うことで、児童が安心して発表できるようにする。 ② 事前に児童が書いた意見を集約し、提示することで、話し合い活動の時間を確保し、意見の比較やまとめをしやすくする。 ② 司会グループの意見も取り入れるために、司会グループも話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 友達のよさを発表することで、互いのよさを認め合うことができるようにする。 ③ 友達から自分のよさを認められることで、自分の考えが大切に扱われていることに気付くことができるようにする。

(3) 本時の流れ

1 みんなが楽しめるお楽しみ会にするために大切なことを確認する。

- T：みんなが楽しめるお楽しみ会にするために大切なことは何だろう。
C：きまりを守る。
C：友達に優しい言葉を使う。学級目標を守る。
T：みんなが楽しめるきまりやルールまでしっかり今日は考えましょう。

友達の意見を最後までしっかり聞こう。一人一回発表しよう。



2 柱1「何をするか」柱2「どんな準備が必要か」について話し合う。

(1) 柱1「何をするか」についてグループで話し合う。

- T：外遊びと中遊びで、それぞれ何がいいか話し合ってください。
C：すごろくがいです。理由はグループごとに楽しめるからです。
C：ドッジボールがいです。男女にチームを分ければみんなが楽しめるからです。



(2) 柱2「どんな準備が必要か」について話し合う。

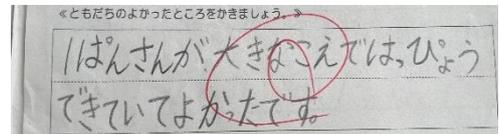
- C：男女別にチーム分けをしておけばいいと思います。
C：ドッジボールが苦手な人も楽しめるようにアイテムを作る。
C：すごろくを前もって作っておく。



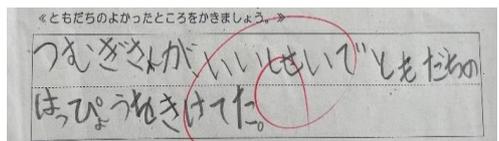
3 決まったことをまとめ、振り返りをする。

(1) 本時の学習をまとめる。

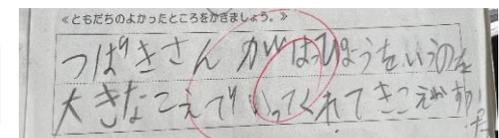
- 柱1 ドッジボール (外) すごろく (中)
柱2 男女別に分かれる。アイテムを作る。(ド)
すごろくを事前に作っておく。(す)



- T：今日の振り返りをしましょう。
C：大きな声で友達が発表していた。
C：〇〇さんがいい姿勢で友達の発表を聞いていた。
C：〇〇さんが困っている友達を助けていてよかった。



T：全員が話し合いに参加し、振り返りでは友達の良かったところを見つけることができましたね。



6 考 察

- 少人数で一人一人に役割を与え、話し合うことで全員が話し合いに参加することができた。
- 司会団やグループでの役割の進め方をマニュアルにしておくことで会の進め方や話し合いの仕方を確認することができた。
- 事前に自分たちの考えをワークシートに記入しておくことで、スムーズに話し合いを進めることができた。
- 他者の良かったところを振り返ることで他者のよさに気付くことができた。
- 「なるほど」の視点で振り返ることが難しかった。「なるほど」の視点で振り返るために「なるほど」と思った児童の意見を教師が取り上げ、紹介する必要がある。